



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行  
市議団ニュース

ご相談は  
お気軽に  
市議会議員  
**福田 明**  
43-0468  
市議会議員  
**鈴木やす子**  
42-2462

# 「放射能対策プラザ」開設

## 食品の放射能検査、線量計貸し出し



磯原駅西口、  
旧「TEPCO  
プラザ」

「北茨城市放射能対策プラザ」が、磯原駅西口の旧「TEPCOプラザ」に設置され、業務を開始しました。

今議会の初日、議員全員協議会の場で市から報告がありました。それによれば、市として放射能対策の住民への窓口を一本化し、放射線量計の貸し出し、食品などの放射能測定が当面の業務です。さらに、放射能についての情報提供もおこなって

いくほか、市民からの意見・要望を聞き、除染や賠償手続き、健康相談についても検討していくとしています。

### 線量計の貸し出し

携行型の簡易線量計の貸し出しは12月1日から始まりました。電話予約が11月28日から始まって、3日間で250件ちかい申し込みとなりました。貸し出し初日の朝には、さっそく市民が訪れ、申請書に書き込み、機器の取り扱いの説明を聞き、持ち帰っていました。

市が購入した線量計は10台。午前と午後各3時間ずつの貸し出しです。

### 食材の放射能検査

さらに同日から、食材の放射能検査の受付も始まり、6日からの予定欄が次々と埋まっていきました。検査は2区分で、それぞれ週1回と回覧広報されましたが、担当課では予備日を設け、できるだけ早く検査が受けら

れるようにすすめていくとしています。

機器貸し出し、食材検査とも予約が必要で、電話番号は42-0403。申請書提出には、身分を証明するものを提示するようになっています。



導入した機器は高価で、食品中の放射性物質の検査装置は50万円ちかく、携行型の線量計でも10万円以上します。

## 賃下げの悪循環に警鐘

### 市職員の給与条例に福田明議員が反対討論

議案73号「北茨城市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」について、反対の立場から討論します。今回の改定は、人事院勧告にもとづいて給与を全体で月額0・23%削減するものです。これによって本市では約300人が影響を受け、その額は約800万円になります。

今改定の特徴は、年代で差別していることです。41歳以下では変わりありませんが、42才以上は減額になります。42と45才は0・3%、46と49才が0・4%、50歳以上が0・5%、それぞれ減額されます。経済的な負担が大変な世代が対象になっているといえます。

この間、人事院勧告によって3年連続、公務員の給与が引き下げられてきました。この理由とされてきたのは「民間が下

## 一般質問

12月6日（火曜）、市議会の一般質問がおこなわれます。今回は7人の議員が質問を予定しています。

本会議で質問に立つ順番は、議会初日にクジ引きで決められます。前々回と前回は福田明議員、今回は鈴木やす子議員と、たまたまですが3回つづけて日本共産党がトップの質問者となりました。

- 鈴木議員は午前10時から、福田議員は4番目で午後早くの登壇となります。それぞれが予定している質問項目は次のとおりです。
- 鈴木やす子（1番目）
  - ・東海第二原発についての市長見解
  - ・放射能汚染対策
  - ・自然エネルギー
- 福田明（4番目）
  - ・生活再建支援金制度と復興計画
  - ・東海第二原発の廃炉
  - ・市立病院の現状と新病院の運営方針

## 議員定数の削減

### 条例提案を検討

市議会の全員協議会で、行財政特別委員会委員長から議員定数についての提案がありました。

この間、同特別委では議員定数について議論を重ねてきましたが、2名削減の意見が多数を占めているとの報告がなされました。これを受けて、議会では、委員会条例を含め条例提案の検討をすることになりました。